



# しばた 社協だより

No.295  
平成25年7月16日

「社協」は、社会福祉協議会の略称です

編集・発行 新発田市社会福祉協議会 新発田市本町4-16-83 TEL 23-1000(代表)

## やさしさ発見☆福祉を体験!



## ～総合学習の時間に福祉について学びました～

新発田市社会福祉協議会では、学校の総合学習や地域の福祉活動への講師派遣などの支援を行っています。

手話や点字、高齢者疑似体験、車椅子体験などさまざまなプログラムを用意しています。

詳しい内容やご相談は 新発田市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL 23-1000 まで



### 在宅福祉サービス事業の推進

- ふれあい・いきいきサロン活動 (17箇所)
- 生活応援団 (支援件数615件)
- 地域ふれあいルーム運営事業 (延利用者数2,672人)
- 在宅高齢者給食サービス事業 (配食延数3,994食)
- 新発田中央包括支援センター運営事業
  - ①介護予防支援業務 予防給付件数 (4,403件)
  - ②包括的支援業務
    - 2次予防事業把握実数 (681件)
    - 2次予防事業介護予防マネジメント件数 (116件)
- 総合相談延件数 (2,890件)
- 権利擁護関係 延件数 (181件)
- 住宅改修支援実件数 (13件)
- ・ガイドヘルプサービス事業 (派遣件数820件)
- ・ホームヘルプサービス事業 (派遣件数2,363件)
- ・手話奉仕員派遣事業 (派遣件数102件)
- ・要約筆記奉仕員派遣事業 (派遣件数12件)
- ・リフトカーあやめ号運行事業 (派遣件数276件)

### 金婚夫婦に記念品贈呈

**対象** 昭和38年4月1日から昭和39年3月31日までの間に結婚した夫婦

**連絡先** 地区民生委員または  
新発田市社会福祉協議会  
地域福祉課

**申込締切** 7月末まで

**問い合わせ** 新発田市社会福祉協議会  
地域福祉課  
TEL 23-1000



### ふれあいベンチを設置してみませんか

町内会長、自治会長を通してお申し込みください。  
設置対象/ゲートボール場、児童公園等

**申込締切** 8月16日(金)

その他/希望多数の場合は調整します。

**申し込み・問い合わせ**  
新発田市社会福祉協議会  
地域福祉課  
TEL 23-1000



## 平成 24 年度新発田市社会福祉協議会 決算報告・事業報告

当協議会の5つの基本理念(市民ニーズ基本の原則、市民活動主体の原則、民間性の原則、公私協働の原則、専門性の原則)に基づき、平成24年度重点事項として取り組んだ4項目について報告いたします。

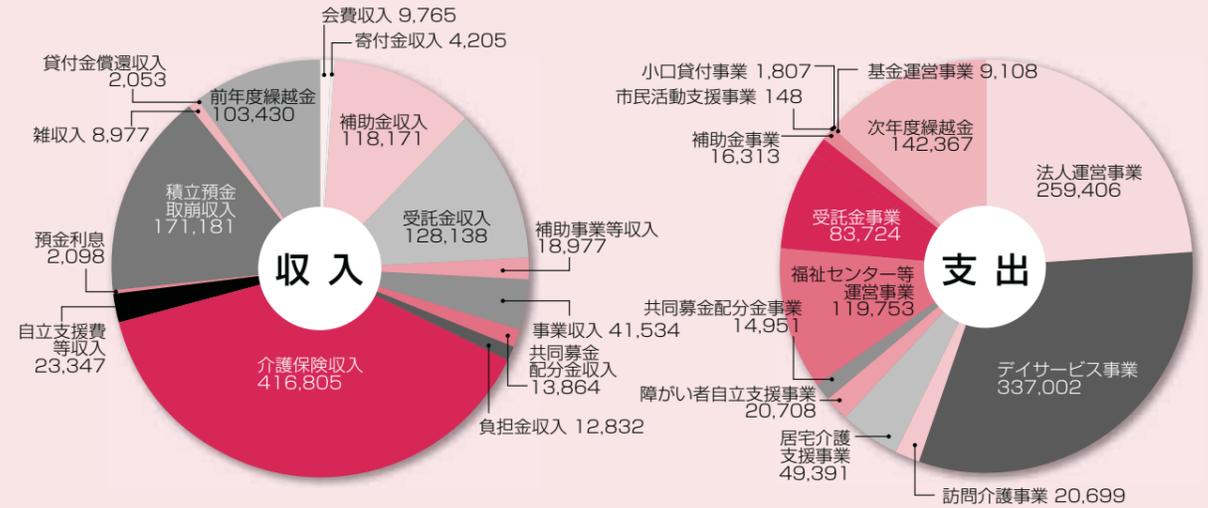
1. 地域福祉(活動)計画の策定
2. 介護保険事業安定的運営の確保
3. 災害ボランティア活動の推進
4. 小地域福祉活動の推進



### 平成 24 年度決算報告 収入支出決算額 10 億 7,537 万 7 千円

収入 1,075,377 (単位:千円)

支出 1,075,377 (単位:千円)



### 総合的事業

- ・社協会費実績額 (9,764,924円)
- ・しばた社協だよりの発行 (12回)
- ・小口資金貸付事業 (78件)
- ・生活福祉資金貸付事業 (50件)
- ・福祉団体への助成 (20団体計1,835,000円)
- ・日常生活自立支援事業 (利用者数63人)
- ・市民活動支援団体への助成 (4団体616,000円)
- ・複合型福祉施設ほのぼの家族運営事業
- ・地域子育て支援センター (延利用者数4,677人)
- ・子どもデイサービス (延利用者数345人)
- ・放課後等デイサービス (延利用者数1,610人)
- ・障がい児日中一時支援事業 (延利用者数261人)
- ・歳末慰問 (1,805件 4,173,000円)

### 介護保険事業

- ・居宅介護支援事業 (ケアプラン作成数4,291件)
- ・通所介護事業 (延利用者数38,935人)
- ・訪問介護事業 (派遣延回数6,908件)

### ボランティア活動の推進

- ・ボランティアセンターの運営 (延利用者数28,144名)
- ・ボランティアフェスティバルの開催 (来場者数約7,000人 参加団体77団体)
- ・各種ボランティア講座の開催 (年16講座 参加者907名)

### 生きがい増進・敬老会・金婚祝い及び健康づくり事業の推進

- ・老人福祉センター「金蘭荘」(延利用者数10,185名)
- ・高齢者レクリエーションセンター (延利用者数6,801名)
- ・豊浦福祉センター「ほうづきの里」(延利用者数28,955名)
- ・老人憩いの家「眺海荘」(延利用者数5,882名) (定期運行バス延利用者数6,419名)
- ・加治川総合福祉センター「さくら苑」(延利用者数6,002名)
- ・敬老会の開催 (24地区 参加対象人数15,506名)
- ・金婚祝い事業 (記念品贈呈 夫婦 315組)

### 各種団体等の活動支援

- ・新潟県共同募金会新発田市支会の支援
  - 一般募金 14,941,103円
  - 歳末たすけあい募金 5,205,363円
- ・日本赤十字社新潟県支部新発田市地区の活動支援
  - 日赤社費収納実績12,276,328円



**各種講座案内**

お問い合わせ  
新発田市社会福祉協議会  
地域福祉課 TEL 23-1000

**要約筆記奉仕員養成講座**

要約筆記とは、聞こえない方に話の内容などをリアルタイムで手書きやパソコンで文字通訳をすることです。

日時/9月4、7、9、11、14、18、21、25、28日の全9回。月・水曜日は19時～20時50分、土曜日は9時～15時50分。ただし、最終日は午前9時半～15時20分。

コース/①手書き ②パソコン

受講対象者/聴覚障がい者支援のために活動する意思のある方

会場/新発田市ボランティアセンター

参加費/1,000円

修了証交付条件/講義・実技とも8割以上の出席

申込締切/8月30日(金)

**福祉センターからのご案内**

◆加治川総合福祉センター「さくら苑」  
～変わり湯予定表～

8月 第1週	ヨモギの湯
8月 第2週	ヨモギの湯
8月 第3週	ヒノキの湯
8月 第4週	喜浦の湯
9月 第1週	ラベンダーの湯
9月 第2週	檜の葉の湯
9月 第3週	竹炭の葉の湯
9月 第4週	ヒノキの湯
9月 第1週	ヨモギの湯
9月 第2週	ヨモギの湯
9月 第3週	ヒノキの湯
9月 第4週	喜浦の湯

※材料の調達状況により変わります。湯の種類変更あり

◆豊浦福祉センター「ほうづきの里」  
～無料送迎バス運行日～

◆新発田地区(毎週金曜日)

8月 2・9・16・23・30日

◆豊浦地区(毎週水曜日)

8月 7・14・21・28日

9月 4・11・18・25日

\*豊浦地区バスの停車場所・停車時間が7月1日から変更になりました。詳しくは福祉センター「ほうづきの里」までお問い合わせください。

◆その他/10名様以上で無料送迎(要予約)

◆お問い合わせ/豊浦福祉センター「ほうづきの里」  
TEL 32-11110

**7/31まで 期間限定 (4日前までに要予約)**

**ほうづきの里 あやめセットプラザ**

個室2名様以上のご利用で4時間無料

弁当お品書き ますの素焼き・アスパラの塩麹和え・山芋の湯葉包み・天ぷら(海老・きす・アスパラ)・炊き合わせ・ご飯・味噌汁など (2名様より承ります)

**あやめセットA ▶ 1,500円**  
入館料+お弁当(1,000円相当)+お酒、ジュースまたはウーロン茶1本

**あやめセットB ▶ 2,000円**  
入館料+お弁当(1,500円相当)+お酒、ジュースまたはウーロン茶1本

**あやめセットC ▶ 2,500円**  
入館料+お弁当(2,000円相当)+お酒、ジュースまたはウーロン茶1本

※タオル・バスタオルはセットに含まれません。詳細はお問い合わせください。8月以降も、お弁当の内容を変えてセットプランを実施します!!

しばた社協だよりは皆さまからいただいた「赤い羽根共同募金」の配分金と社協会費で発行されています。

## 新発田市ボランティア連絡協議会 視察研修に行ってきました

6月24日(月)お天気にも恵まれ会員59名、社協職員5名、実習生2名を含めた66名で中越大震災のメモリアル拠点である2施設に視察研修してきました。

### 長岡震災アーカイブセンター きおくみらい



床が中越地域全体の航空写真になっており被災地域を平面で見渡せます。iPadで読み取り、情報を見ることができます。



### おぢや震災ミュージアム そなえ館



そなえ館では、実際の地震の震動を体験したり、孤立した地域で集まってビニールハウスを避難所にして生活を送った3日後の様子(右写真)、体育館の避難所、3か月後の仮設住宅の台所の様子等を見ました。

クロスロード(シミュレーションクイズ)では、実際にあった避難所でのボランティアの対応について学びました。

#### 3つのステップ

- 課題を読み取るイメージをふくらます
- YESか?NOか? 決断する!
- なぜそう考えたか理由を発表する

#### NOの意見

- 行政には常に公平性が求められるので、全員分揃うまでは配ることができない。
- この段階で食糧を配布するためには優先順位を定めなければならない。その基準をどこに置くかが難しい。
- 誰かに先に配ると、どんな理由があっても必ず文句がでる。
- 配糧が次回、何時に届くか分からない状態で、特定のみにだけ配ることはできない。



\* 問い合わせ先 (土・日・祝日を除く)\*

社会福祉法人 **新発田市社会福祉協議会**

〒957-0054 新発田市本町4-16-83  
TEL 23-1000 FAX 26-3300 (ボランティアセンター内)

